

# 「THE 名刺管理 Business」ログイン時の多要素認証必須化について

2023年10月16日

株式会社NTTデータNJK メディアドライブ事業部 商品部

# Salesforceログイン時の多要素認証（MFA）必須化について

Salesforceは不正ログイン防止のため2023年11月15日より、Salesforce 製品へのアクセスには多要素認証（MFA）の使用を必須条件とする。これはSalesforce全利用ユーザが対象。

※ただしSalesforce社へ当社から申請することにより2024年1月12日まで延長が可能です。別途メールにてご案内いたします。

Salesforceログイン時にユーザ名・パスワードに加え、他要素の認証を追加する。主にスマホ認証アプリでの「承認」ボタンタップ。利用は無償。

**「THE 名刺管理 Business」もSalesforceにログインするため多要素認証が必須となる。**

# 多要素認証: Multi-Factor Authentication (MFA) とは

多要素認証とは、認証の3要素である「知識情報」、「所持情報」、「生体情報」のうち、2つ以上を組み合わせて認証することを指します。

要素	例
知識情報	<ul style="list-style-type: none"><li>✓ パスワード</li><li>✓ PINコード</li><li>✓ 秘密の質問</li></ul>
所持情報	<ul style="list-style-type: none"><li>✓ 携帯電話</li><li>✓ ハードウェアトークン</li><li>✓ ICカード</li></ul> <div data-bbox="1340 594 1787 663"></div> <p>無料スマホ認証アプリ</p>
生体情報	<ul style="list-style-type: none"><li>✓ 指紋</li><li>✓ 静脈</li><li>✓ 音声</li></ul>

# 多要素認証: 例

ATMからお金をおろす際は、所持情報であるキャッシュカードに加え、知識情報である暗証番号が必要となるため、「多要素」な認証をしている。

要素		例
知識情報	<ul style="list-style-type: none"><li>✓ パスワード</li><li>✓ PINコード</li><li>✓ 秘密の質問</li></ul>	暗証番号
所持情報	<ul style="list-style-type: none"><li>✓ 携帯電話</li><li>✓ ハードウェアトークン</li><li>✓ ICカード</li></ul>	キャッシュカード
生体情報	<ul style="list-style-type: none"><li>✓ 指紋</li><li>✓ 静脈</li><li>✓ 音声</li></ul>	

## ・2要素認証と2段階認証は違う

2段階認証は「認証を2回行うという点では同じ」

「認証を2回行っているが「秘密の質問」は知識情報となり1要素になる」

スマートフォン端末で取得する「ワンタイムパスワード」は所持情報となる

要素		例
知識情報	<ul style="list-style-type: none"><li>✓ パスワード</li><li>✓ PINコード</li><li>✓ 秘密の質問</li></ul>	
所持情報	<ul style="list-style-type: none"><li>✓ 携帯電話</li><li>✓ ハードウェアトークン</li><li>✓ ICカード</li></ul>	
生体情報	<ul style="list-style-type: none"><li>✓ 指紋</li><li>✓ 静脈</li><li>✓ 音声</li></ul>	

# Salesforceが推奨する追加の承認方法「3つ」

MFA では、通常のSalesforce ログインプロセスに他の認証ステップが追加されます。

1. ユーザは通常どおり、ユーザ名とパスワードを入力します。
2. その後、ユーザは以下の検証方法で認証するように求められます。

## 1.Salesforce Authenticator アプリケーション

基本はスマホでこちら使用（無償）

- ✓ 高速で無料の認証（スマホアプリ）



Salesforce  
Authenticator

無料アプリ

## 2.サードパーティ TOTP認証アプリケーション

- ✓ Google Authenticator（スマホアプリ）
- ✓ Microsoft Authenticator（スマホアプリ）
- ✓ Authy（Windowsソフト）※



無料アプリ

スマホがない場合こちら使用（無償）

## 3.U2F または WebAuthn セキュリティキー

- ✓ YubicoのYubiKey
- ✓ GoogleのTitanセキュリティキー



4,000円～6,000円

※AuthyはPC上で動作するAuthenticatorソフト、アプリのPC版

# 1.Salesforce Authenticatorアプリでの認証

## 1.Salesforce Authenticatorアプリケーション



Salesforce  
Authenticator

無料アプリ

「THE 名刺管理 Business」アプリのログイン時の認証は初回のみとなります。  
次回からはアプリアイコンタップで起動します。

固定PCブラウザでのログイン時、「ロケーションサービス(指定した場所でのログイン)」を有効にすることで、  
次回からはスマホでの認証無しでログインが可能です。

セキュリティを上げる場合は、利用後のログアウトを推奨します。

※ユーザ名・パスワードの漏洩により異なる端末からのログインに対するセキュリティは維持されます。

## ■ スマホ用認証アプリが利用できる場合（会社スマホ・個人スマホ）

- ログイン：PCブラウザ・スマホアプリ（BIZアプリ）
- 認証：スマホ認証アプリ「Salesforce Authenticator」

※名刺BIZアプリは一度MFAログインすれば次回からは自動ログイン

※認証は「認証ボタン」タップ

## ■ スマホアプリが無い場合

- ログイン：PCブラウザ・スマホアプリ（BIZアプリ）
- 認証：Windows用認証ソフト「Authy」

※名刺BIZアプリは一度MFAログインすれば次回からは自動ログイン

※Windows用AuthyとスマホアプリAuthyの共存可能（共存の場合スマホを先に設定）

※認証は認証ソフトの6桁数字を入力



- スマホが利用できない環境の場合Windowsのみで認証可能です
  - 認証:Windows用認証ソフト「Authy」



Authy は以下から入手出来ます

<https://authy.com/download/>

## • PCにインストールしたAuthyでMFAに対応する際の注意点 by SFDC

MFA（多要素認証）は、文字通り「多要素」での認証を経ることによってセキュリティレベルを向上させます。

Authyを利用する方法では、SalesforceにログインをするPCと、Authyによってワンタイムパスワードの追加認証を行うPCは同一の筐体となります。

そのため、Salesforce AuthenticatorのようにログインするPCと、追加で認証を行うスマホでデバイスを分ける方法よりもセキュリティレベルが低くなる可能性があります。

※ 自社・自団体のセキュリティポリシーによっては、ログインするデバイスと追加認証を行うデバイスを別のものにする必要がある場合があります。

**※ 端末を紛失した場合にはセキュリティが下がるが、ユーザ名パスワードの漏洩に対しては有効**



# NTT DATA

Trusted Global Innovator